

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信

2021.11

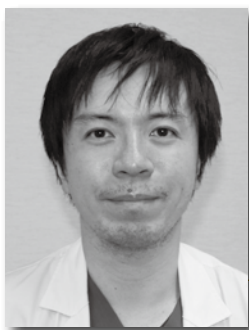
Vol. 109

●編集・発行／総合東京病院

医療連携支援センター 地域連携室 TEL:03-3387-5444

特集

高齢化と排尿障害について



泌尿器科

吉村 敏宏

加齢に伴う排尿障害は、誰にでも起こりうることです。実は、泌尿器疾患で最も患者数が多かったのは前立腺肥大症で、1990年（平成2年）の17万2000人から、2014年（同26年）には51万人まで増えています。前立腺肥大症の一番の要因は加齢であり、今後も高齢化が進むにつれて増加することが予想されます。排尿は毎日のことであり、その障害は著しく生活の質を低下させてしまいます。今回は、前立腺肥大症の症状とその治療についてお話したいと思います。

■ 前立腺は何をしているもの？

前立腺は、膀胱から尿道括約筋の間にあり、尿道の周囲を取り囲むように存在しています。前立腺は精子を保護する体液を作ることと、尿が漏れないようにする尿禁制の一部を担っていると考えられています。

■ 前立腺肥大症の症状

前立腺が大きくなることにより、尿道内腔が一部狭くなることで排尿への影響が現れてきます（図1）。イメージとしては、ホースから水を出す際に、ホースの途中を摘んだり、曲げたりすることで排水に障害が出るようなものです。それを排尿にあてはめると、勢いが悪くなり、排尿

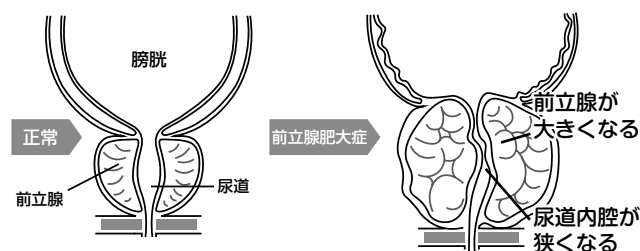


図1 前立腺肥大症の症状

寄附金のお願い

～新型コロナウイルスから患者さんを守るために～

寄附金は、病院の施設や環境の整備、新しい知識や技術などの研究開発、医療スタッフ育成のための経費に活用させていただきます。皆さまからのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ

総合東京病院 寄附受付係

TEL: 0570-00-3387 メールアドレス tokyo-hp.kifu@mt.strins.or.jp

詳細はこちら



特集 高齢化と排尿障害について

に時間がかかることや尿が飛び散るなどの症状として現れます。比較的早期は、頻尿や排尿時の不快感・切迫感をきたし、その増大に伴い排尿困難が出現してきます。

■ 前立腺肥大症の診断

前立腺肥大症の診断は、腹部超音波検査や直腸診（肛門からの診察）などで可能です。ただ、その排尿障害の評価には、尿の流速や残尿を測定したり、膀胱鏡検査や膀胱の内圧を測定したりすることが必要です。その結果をふまえて治療方法を考慮することになります。

■ 前立腺肥大症の治療

- ①行動療法：食事指導、過剰な水分摂取の制限、体重減少、便秘改善など。
- ②薬物治療：前立腺や膀胱頸部（出口付近）の平滑筋を弛緩させて尿を通りやすくするものや、大きくなった前立腺を物理的に縮小させるものが

中心になります。その他、漢方薬などで症状の緩和が見られることもあります。

- ③手術治療：薬物治療では十分な効果が得られない場合に考慮します。膀胱結石や尿路感染、腎機能障害などが生じている場合にも手術の適応を検討します。現在は、麻酔下に尿道から内視鏡を挿入する治療が一般的です。当院では比較的出血が少なく済むようなレーザー内視鏡手術を導入しています（図2、図3）。

排尿障害は、男女を問わずデリケートな問題で、なかなか他人に相談しづらいことですが、お困りでしたら是非診察にいらしてください。

排尿が気になりましたら…

泌尿器科
ご受診ください



ご予約:0570-00-3387 (予約・相談ダイヤル)



図2 前立腺肥大症の手術・経尿道的前立腺切除術(ThuVAP)で用いるツリウムレーザー治療機器

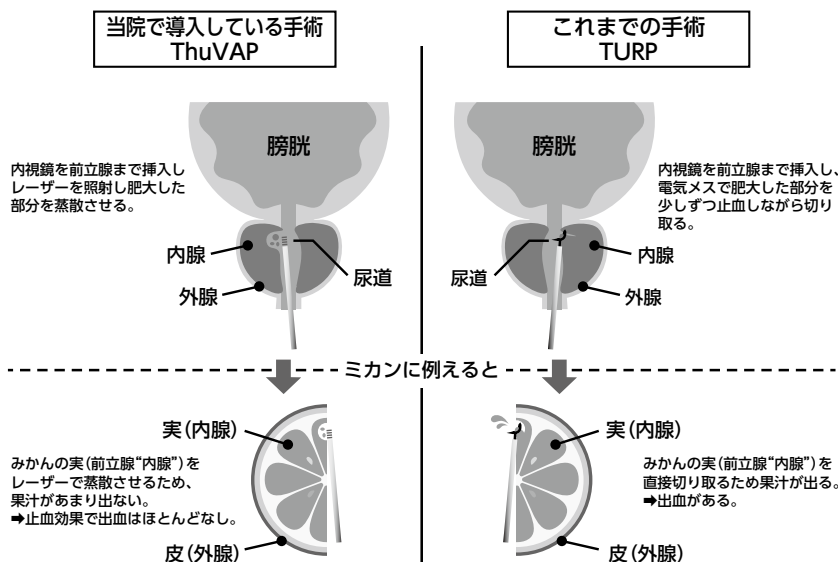


図3 前立腺肥大症の手術方法